



第5回 水が伝える豊かな農村空間

～疏水・ため池のある風景～

写真コンテスト

【募集期間】 2025年6月1日(日)～2025年11月30日(日)

田んぼや畑に水を送る「疏水(農業用水)」や「ため池」は、先人のたゆまぬ努力により形づくられてきました。そして、本来の役割である食料生産のみならず、生態系保全など様々な役割を果たしつつ、いまなお日本人の原風景とも言うべき美しい風景を創り出しています。

このコンテストは疏水・ため池の価値や役割、機能を、写真を媒体として広く国民の皆様にご覧いただくことを目的に開催しています。

本年も全国各地からご応募いただいた作品について、審査を経て「農林水産省農村振興局長賞」「土地改良PR賞(「水土里ネット団体賞」から改名)」ほかの入賞作品を決定しました。

◆総評◆



このコンテストも第5回となり、回を重ねたぶん題材や表現が出尽くしかけている時期かもしれません。それでも応募作からは、時間を使い、タイミングを考え、良い瞬間を狙って撮ろうとする真摯な姿勢が強く伝わってきます。

まだ見ぬ疏水や、まだ知られていないため池の姿はきっと未だ多く残っているでしょうから、そうした

新しい発見を今後も続けてほしいと思います。

特に「よくこの角度から見た」と驚かされるようなアングルの作品がいくつか見られたことも印象的で、これからも体全体を使って多様な視点・新しい角度から疏水やため池を見つめ直し、その魅力を掘り起こして行ってほしいと思います。

審査委員長 織作 峰子



左から 全国水土里ネット 室本隆司専務理事
織作峰子委員長、松本平委員、牧千瑞委員

【審査委員】

委員長 織作 峰子 大阪芸術大学教授
松本 平 農林水産省農村振興局長
牧 千瑞 全国水土里ネット 土地改良広報センター所長



～疏水部門～

農林水産省農村振興局長賞



題名：疏水網

撮影者：山野 修一（熊本県）

撮影場所：色見川^{しきみがわ}を跨ぐ水路（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）

審査員選評

疏水が中央を、力強くまっすぐに伸びていくラインが際立っていて、その直線を主役にした潔い構図がとても美しいと思います。南阿蘇の広大な稲作地帯を支える疏水網という背景を踏まえると、外輪山の麓へ水を運ぶための重要な水路であることが写真からよく伝わってきます。

加えて、水が立体的に交差する構造の面白さや、昔の人がよく考えて造られた施設であることが感じられて、作品の魅力になっています。

歴史的にも技術的にも見応えのある作品だと感じます。

～疏水部門～



題名：小滝のある風景
撮影者：日野 諒（山形県）
撮影場所：温水路（秋田県仁賀保市）

全国水土里ネット会長賞

審査員選評

複数の段で連なる小さな滝のひとつひとつが、きれいに見える角度を選び抜いて撮っているところが素晴らしく、構図を丁寧に検討したことが伝わってくる作品です。周囲の風景や道の入り方も適度で、その土地の風情が自然に感じられるのも良いところです。

また、冷たい伏流水を温めながら田んぼに入れる温水路という仕組み自体を被写体にする事で、低温障害を防ぐ先人の知恵に対する敬意も感じられます。滝が糸のように写っていることから、三脚を使った長めの露光など、撮影技術の確かさも評価できます。

土地改良PR賞

審査員選評

農道を走る大勢の人々の姿と、その下で豊かな水が流れ出る施設を同じ画面に収めることで、疏水が農業だけでなく地域の暮らしとつながっている関係性が見えてくるようです。上では人の動きがあり、下では水が循環して田んぼを支えているという上下の構造が、地域の営みを象徴的に表しています。

かなりの水量が流れている様子から、南魚沼の米づくりを支える用水の力強さも感じます。さらに、今では自動化されている施設も多い中で、昔の姿をとどめた給水施設が、管理され今も活用されている様子がうかがえ、地域に根ざした景観としての価値がよく表れていると感じます。



題名：農道マラソンと吐水口
撮影者：富所 上（南魚沼土地改良区（新潟県））
撮影場所：西部パイプライン吐水口（新潟県南魚沼市）

～疏水部門～



題名：地域を支えている

撮影者：木幡 夏希（埼玉県）

撮影場所：六堰頭首工（埼玉県深谷市）

U-18 賞

審査員選評

若い撮影者がこうした基幹的な農業用水利施設に興味を持って、写真として残そうとしていること自体がまず貴重だと思います。

そのうえで、水の恵みが自分たちの地域の生活を支えているという理解を踏まえて被写体に向き合っている点が、作品の確かな芯として伝わってきます。

青空や雲が入ったのどかな雰囲気も魅力で、人工的な構造物でありながら周囲の自然に違和感なく馴染んで見えるように撮れているところも良いと感じます。

U-18ならではの素直な視点で、疏水の役割をしっかりと捉えた良い作品だと思います。

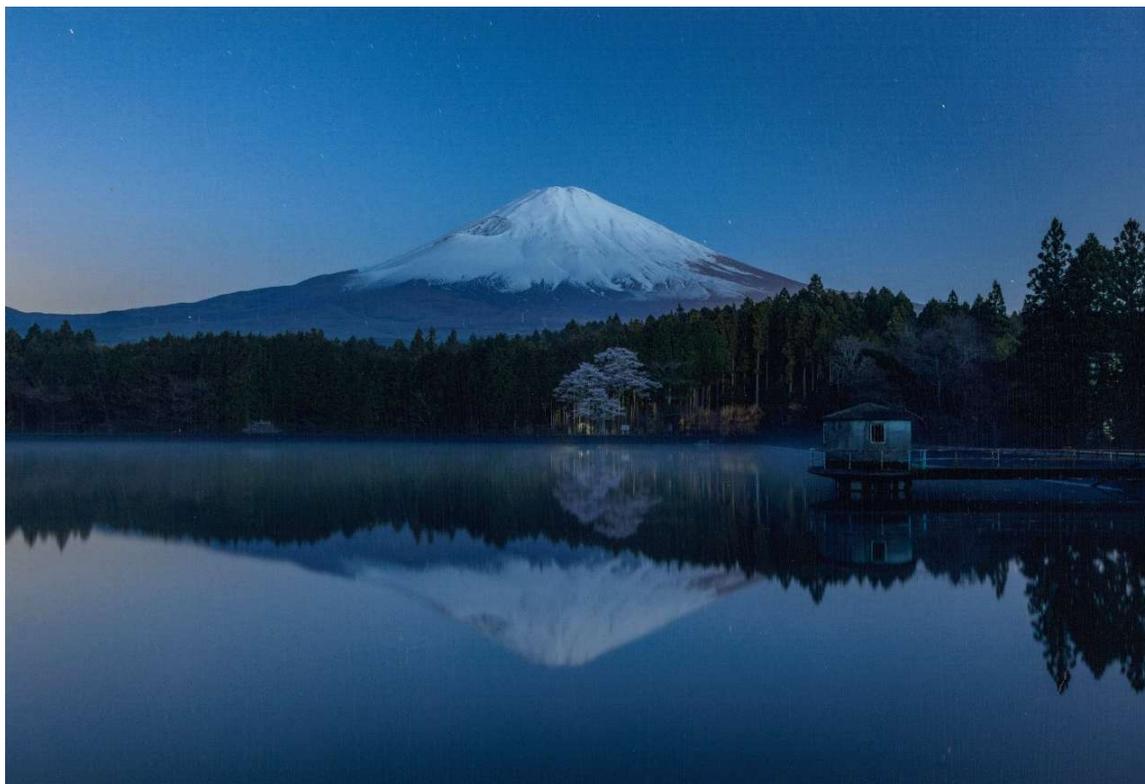
頭首工(とうしゅこう= headwork)

川をせき止めて、農業用水を用水路に取り入れる施設のこと。頭首工は用水路の一番頭(上流)の部分にあることからこのように呼ばれ、川をせき止める堰(せき(水門やゲートとも言う))と取水口(しゅすいこう)から成り立つ。

〈出展：埼玉県ホームページ <https://www.pref.saitama.lg.jp/index.html>〉

～ため池部門～

農林水産省農村振興局長賞



題名：桜の頃

撮影者：塩川 里美（静岡県）

撮影場所：六郎塚調整池（静岡県御殿場市）

審査員選評

逆さ富士が水面にくっきりと映り、中央に満開の桜が配置されている構図の美しさが強く印象に残ります。夜明け前と思われる静けさの中の撮影で、風のない水面やうすらとした霧が神秘的な雰囲気をつくり、情緒のある静かな作品になっています。また、取水施設が景観の中に溶け込んで無理なく収まっている点も良いと思います。

上下を逆に見ても分からないほど映り込みが整っており、三脚を使うなどして丁寧に撮っており、撮影者の努力と技術力が伝わってきます。

～ため池部門～



題名：キティちゃんも応援
撮影者：山内 勝（兵庫県）
撮影場所：西島皿池（兵庫県明石市）

全国水土里ネット会長賞

審査員選評

水を抜いたため池に入って行うレンコン掘り大会の様子で、レンコンの収穫と※かいぼりに集った多くの人が写り、全体として躍動感のある1枚だと感じます。

また、キティちゃんが描かれた新幹線が画面に入るタイミングが絶妙で、早すぎても遅すぎても成立しない瞬間と、手前の人物の生き生きとした表情も的確に捉えていて、双方が見事に重なり合っています。

ため池の維持管理（かいぼり）・収穫体験・新幹線という要素の対比も面白く、作業のリアリティが自然と伝わる作品です。

※池や沼の水を抜き、底に堆積した泥や土砂を取り除く日本の伝統的な管理手法

土地改良PR賞

審査員選評

コウノトリに焦点を絞っているのが、ため池が生き物の暮らしを支える場になっていること、生態系保全の役割を担っていることがよく伝わってきます。応募作品の中でもひとつの被写体に焦点を当てた構図は珍しく、それが作品の個性になっていると思います。親鳥が水を飲んだり餌をとったりする様子を子に教えているかのようにも見えて、見る人に物語を想像させます。

人の管理によって守られてきたため池が、鳥たちの生活の場になっていることから、自然を守る大切さにも気づかせてくれる作品だと思います。



題名：子育てのひと時
撮影者：繁田 洋子
（国岡土地改良区（兵庫県））
撮影場所：みざいけ 三字池（兵庫県稲美町）

～ため池部門～

U-18 賞

審査員選評

池に泳ぐ水鳥と、飛ぶ鳥を同じ画面内で捉えるという狙いが明確で、その瞬間を得るために粘り強くタイミングを待ったことが伝わってきます。鳥の位置関係が良く、水面の鳥が泳いでいることも分かるので、瞬間の捉え方がきちんと成果として表れていると思います。

加えて、夜明けの落ち着いた空気感や自然な色調が写真全体を穏やかにまとめていて、ため池という静的な空間の中で、動きのある被写体を捉えた点が印象的な作品です。

題名：夜明けの伝送

撮影者：笹井 華那（奈良県）

撮影場所：荒神塚池（京都府木津川市）

入選 ～ 疏水部門 ～



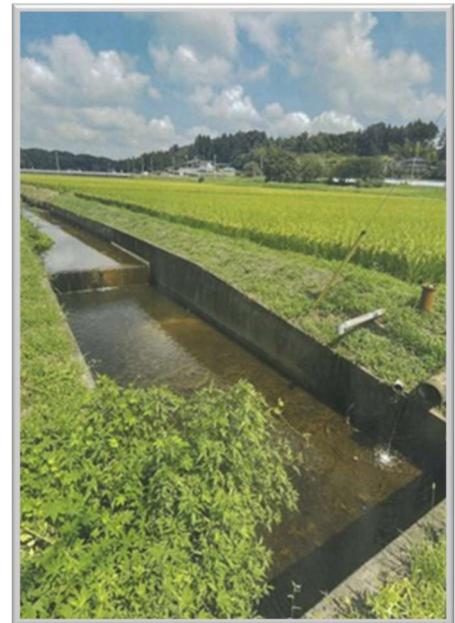
題名：水路清掃
撮影者：佐山 勝信 (福島県)
撮影場所：会津若松市高野町水路
(福島県会津若松市)



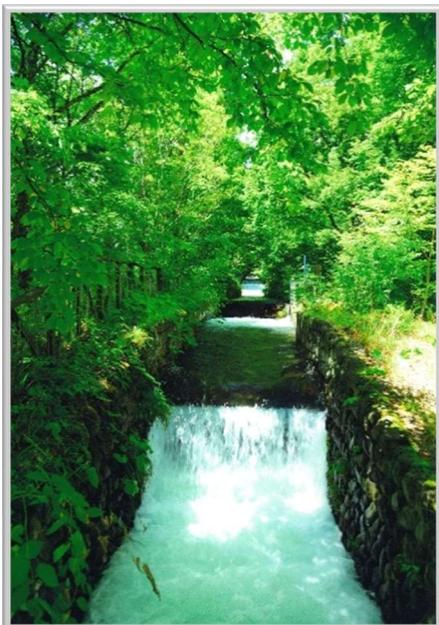
題名：田植え、おつかれ～
撮影者：門林 泰志郎 (福島県)
撮影場所：鮫川支流農業用水路
(福島県石川郡古殿町)



題名：夕照の中の漁師
撮影者：鈴木 康雄 (千葉県)
撮影場所：印旛沼 (千葉県印西市)



題名：私だけの景色
撮影者：皆川 優衣 (栃木県)
撮影場所：市貝町田野辺
(栃木県芳賀郡市)



題名：緑の中を
撮影者：西山 昌敏 (神奈川県)
撮影場所：烏川幹線水路
(長野県安曇野市)

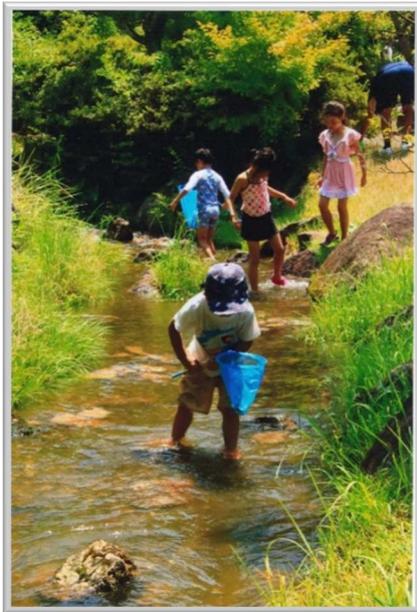
入選 ～ 疏水部門 ～



題名：分かち合いの里へ
撮影者：中村 則夫 (石川県)
撮影場所：東山門筒分水槽
(富山県魚津市)



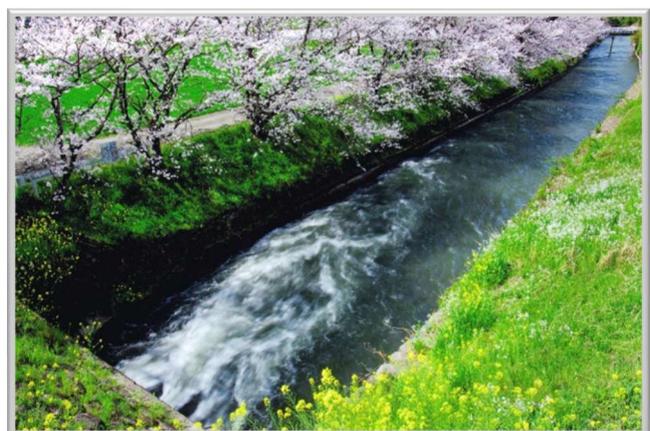
題名：無題
撮影者：松本 浩志 (島根県)
撮影場所：伊佐川らせん式魚道
(島根県出雲市)



題名：魚捕り
撮影者：横山 彰 (香川県)
撮影場所：香川用水 (香川県三豊市)



題名：ヒマワリ畑の用水路
撮影者：久保 初美 (香川県)
撮影場所：帆山向日葵団地
(香川県まんのう町)



題名：誇らしげに流る
撮影者：舎川 孝吉 (福岡県)
撮影場所：大石用水 (福岡県うきは市)

入選 ～ ため池部門 ～



題名：北帰行の休憩地
撮影者：成田 徹（青森県）
撮影場所：田光沼（青森県つがる市）



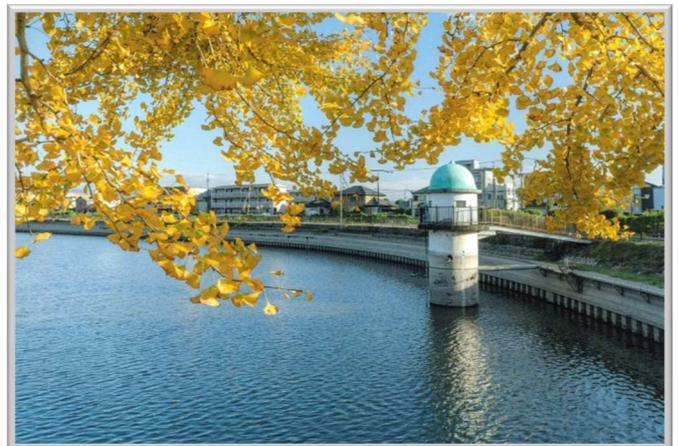
題名：農繁期の休日
撮影者：松木 勇紀（山形県）
撮影場所：白川ダム（山形県飯豊町）



題名：朝陽に凜として
撮影者：柏館 健（福島県）
撮影場所：花園の池（福島県棚倉町）



題名：魚天国
撮影者：星野 郁男（山梨県）
撮影場所：月見ヶ池（山梨県上野原市）

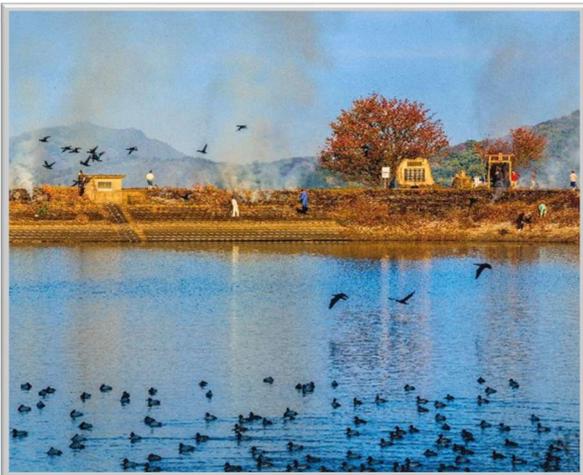


題名：水辺に佇む大正ロマン
撮影者：上村 清（静岡県）
撮影場所：門池（静岡県沼津市）

入選 ～ ため池部門 ～



題名：うぐい突き漁
撮影者：山崎 秀司 (兵庫県)
撮影場所：大堤池 (鳥取県鳥取市)



題名：草焼き
撮影者：額田 一司 (香川県)
撮影場所：庵治大池 (香川県高松市)



題名：鬼列車
撮影者：芝崎 静雄 (愛媛県)
撮影場所：新池 (愛媛県伊予市)



題名：収穫の日
撮影者：藤松 政晴 (佐賀県)
撮影場所：戸次郎ため池 (佐賀県伊万)